

支援と復興・交流

熊本城復旧工事

長堀

長堀は熊本城の南側を流れる坪井川に面する石垣の上に建つ全長242.44mの堀で、国の重要文化財に指定されています。

平成28年熊本地震で東側が倒壊し、同年12月に復旧のため解体保存が行われました。解体後は発掘調査などを実施したのち、平成31(2019)年2月に復旧工事を開始し、令和3(2021)年1月に復旧

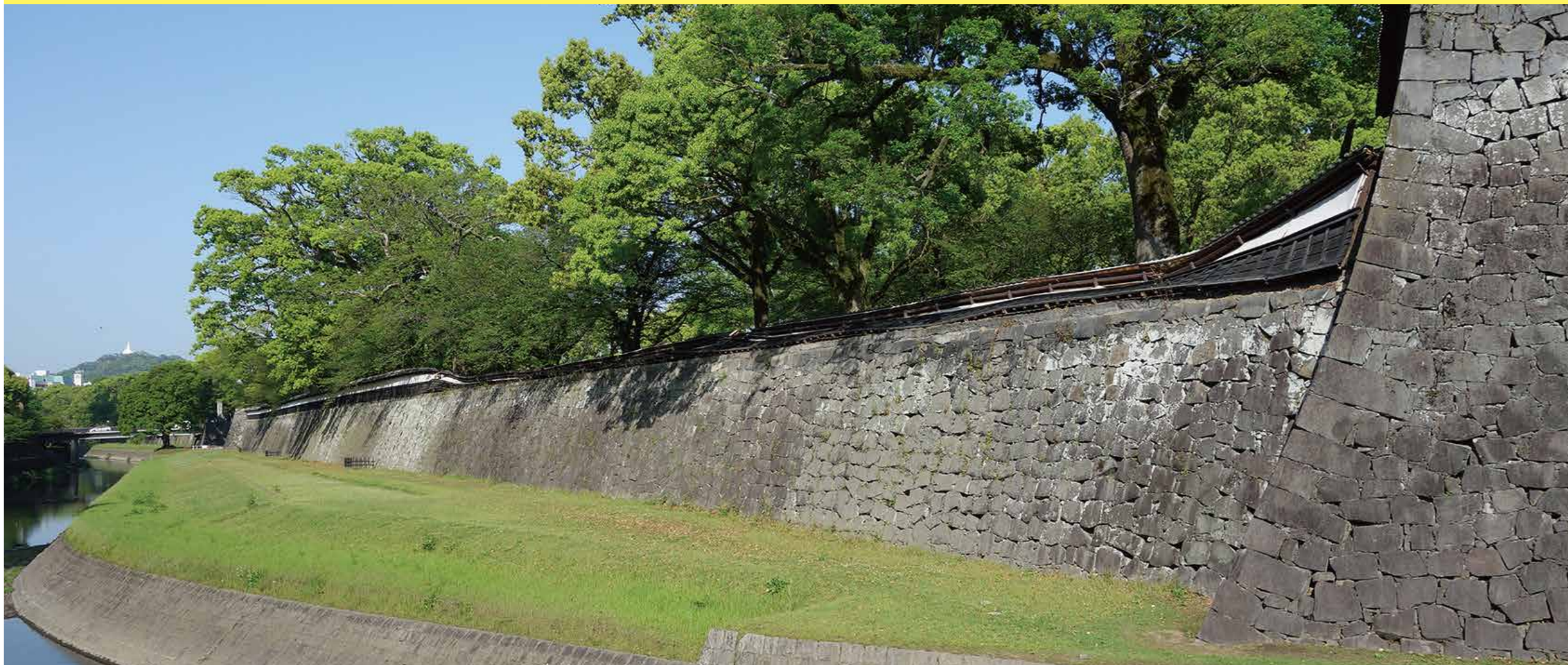
が完了しました。

復旧にあたっては、既存の部材をできるだけ再利用し、在来の建築技法により工事が進められました。

今回の復旧では、地震前の姿に戻すことに加え、地震や台風に強いものにするため、新たにステンレス製の筋交いで補強が行われています。

長堀復旧のあゆみ

2016	2017	2018	2019	2020	2021
平成28年 熊本地震で被災(4月)	解体・部材回収 格納開始(12月)	発掘調査 完了(2月)	発掘調査2回目 完了(1月)	基礎工事・左官工事・ 塗装工事開始(4月)	左官工事・塗装工事 完了(9月)
	組立設計 開始(9月)	発掘調査 開始(9月)	組立設計 完了(3月)	石工事 開始(5月)	構造補強工事 完了(6月)
	解体・部材回収 格納完了(3月)	発掘調査 開始(11月)	仮設工事・構造補強工事 雑工事開始(2月)	木工事 開始(3月)	木工事・屋根工事 完了(5月)
				屋根工事 開始(6月)	基礎工事 完了(10月)
					石工事 完了(9月)
					長堀 復旧完了(1月)



1 被災後の長堀



5 復旧完了後の長堀(城内側)



2 解体中の長堀



2 解体した部材の調査



3 漆喰塗り



4 折損した控石柱の補修作業



5 復旧完了後の長堀